

## 花川病院 今西優美（ 職種 作業療法士 / 所属部署 リハビリテーション部 ）

**功 績** 第52回北海道作業療法学術大会の指定演題で、回復期リハにおける認知症高齢者に対してデジタル回想法を用いた取り組みを発表し、指定演題から唯一の優秀演題賞を受賞し、花川病院の革新的なデジタル技術を用いた認知症リハビリ介入について全道へアピールした功績。

**推 薦 者** 岡本康世（ 職種 リハビリテーション部長 ）

**推 薦 理 由** 今西OTは3階回復期リハビリ病棟のチームリーダーです。スタッフのみならず、患者さん、ご家族の信頼も厚く、チーム運営、後輩教育、臨床研究など積極的に取り組み、リハビリ部員の模範です。花川病院の革新的なデジタル技術を用いた認知症リハビリ介入を発表した結果、北海道作業療法学術大会で優秀演題賞を受賞し、健育会グループ花川病院を全道へアピールした貢献で理事長賞に推薦いたします。

### 内 容

---

今西OTは大学卒業後、花川病院へ新卒者として入職しました。回復期リハビリ病棟で脳血管疾患や運動器疾患の患者さんを幅広く受け持ちリハビリを提供していく中で、一番の興味関心は“認知症”でした。花川病院は認知症高齢者の入院が多く、認知症患者さんへ効果的なリハビリを提供することが課題のひとつです。院内の勉強会グループにおいても、認知症の知識を深め、メンバーとの意見交換や症例報告を通していく中で、さらに認知症に関して学びを深めたい思いが強くなり、花川病院で臨床業務を行いながら大学院へ進学し認知症に関する研究を開始しました。大学院の研究は認知症に伴う行動・心理症状（BPSD）の変化を没入型VR回想法を用いて研究を行っています。

今回、「回復期リハにおける認知症高齢者に対してデジタル回想法を用いたリハビリ介入」としてまとめ、第52回北海道作業療法学術大会へ演題登録しました。学会主催者から革新的なリハ介入をテーマにした学会であるので、ぜひ指定演題で現地発表していただきたいと依頼がありました。コロナ禍で現地とオンラインのハイブリッド形式でしたが、現地の会場で口述発表する光栄な依頼でしたので現地で発表させていただきました。発表した結果、指定演題で唯一の優秀演題賞を受賞することができました。学会大会長からも賞賛の言葉をいただき大変光栄でした。

今後、さらに9月には日本作業療法学会の全国学会で没入型VR回想法の検討として研究を行った結果を発表する予定です。大学院で学んだ知識や技術、花川病院で行っている共同研究（没入型VR回想法）の成果などを今後も現場へ貢献し、花川病院および作業療法の更なる発展に尽力していきたいと考え行動している今西OTはリハビリ部員の模範的存在です。チームリーダーとして信頼も厚く、チーム運営、後輩教育にも取り組んでいます。

以上により理事長賞に推薦いたします。